

機能から見た教員用タブレットを使った働き方改革実践例

練馬区内学校での実践例です。令和 4 年 2 月に文科省が作成した『働き方改革事例集(改訂版)』のICTを活用した校務改善事例頁も参考にまとめました。校務改善を成功させるカギは、できるところから少しずつ、スモールステップで進めていくことが大切です。

チャット機能の活用による情報共有



事例 1 校内連絡で活用 【豊玉小】

校内連絡をC4thからチャットに移行
教員用タブレットがあれば校内のどこにいても情報交換が可能
文書への素早いアクセスが可能となった
絶えず最新情報を共有できる
 校内連絡はC4thから脱却
 リアクション機能の活用で確認した教員がわかる

事例 2 緊急連絡用グループを作成し活用【大泉第四小】

欠席者情報の共有
 出欠連絡formsの共有とあわせて、事務や養護教諭が電話で受けた連絡を発信
 保健室から担任へ
 休み時間に訪れ、保健室で休んでいる児童の情報を発信
 早退が必要な児童について帰りの準備依頼を発信
 教室から
 脱走した児童を探してもらう依頼を発信
 体育館の状況を教室に伝える
 行事のリハーサルを体育館で実施した際、教室にいる教員との進行状況を共有
緊急を要する情報伝達時も校内の移動をする必要がなくなった
教員全員で欠席者情報を共有することができる
 用途別にチャットグループを作成すると、必要に応じてチェックできる

事例 3 朝会・夕会で活用【旭丘小】

朝会・夕会のチャット化
 朝会および夕会での事務連絡をチャットで行っている。
 生活指導部会などグループを作成し、グループ内での情報共有に活用している。
朝会・夕会の開催頻度が減った

事例 4 校内の情報共有で活用 【関町北小】

主に校内の情報共有で活用している。研修会資料などもチャットで共有している。
チャット内に添付ファイルをつけることで添付内容の確認が容易になった



- 『働き方改革事例集(改訂版)』文部科学省
 【95頁 伝達事項のオンライン共有 日5分×年200日=16.7時間】
 【96頁 職員朝礼・終礼のオンライン化 日5分×年200日=16.7時間】
 【102頁 ペーパーレス化 月20分×年10.8か月=3.6時間/年】
- 『教育ICT実践事例集』練馬区教育委員会
 【143頁 校務改善】

Google Formsの回答を見やすくして共有



事例 5 保健板のクラウド化 【関町北小・大泉中】

欠席連絡フォームと保健板のクラウド化
 欠席連絡フォームで入力した情報を活用し、関数を入れたスプレッドシートで保健板を作成(ICT支援員が作成補助)
 保健板を共有することで、最新の欠席者情報を共有
フォームで簡単に情報共有し、集めた情報を活用して視覚化
教員の負担、児童の運搬リスク、養護の負担の軽減

事例 6 個人面談の日程調整のデジタル化 【関町北小】

個人面談日程調整フォーム回答からの調整表へのデータ自動連携
 個人面談日程調整のフォームを作成し、保護者回答から作成されたスプレッドシートのデータを活用して、日にち時間別に振り分けできる表を作成
日程調整にかかる時間が大幅に削減された



- 『働き方改革事例集(改訂版)』
 【75頁 欠席連絡・検温連絡のWebアンケート化 日10分×年200日=33.3時間/年】
 【86頁 Webアンケート化 1時間×アンケート3回=3.0時間/年】
 【81頁 面談調整のオンライン化 1時間×調整1回=1.0時間/年】

校務情報のスプレッドシート化



事例 7 週案簿のデジタル化 【豊玉小】

週案簿を紙からデジタルし共有
 行事用データから共有の週案データへ情報を自動共有
 スプレッドシートの関数を活用し、時数計算も自動
 専科が入力した内容(教科・単元・内容)も各担任へ自動で共有
行事の変更も自動で変更され、常に最新の情報が共有可能になった
時数計算の負担が軽減
 共有することで他学級の時間割に関する問い合わせ対応も可能となる

事例 8 週案簿と連絡帳のデジタル化 【関北小】

週案簿をデジタル化し、classroomで配信する児童生徒連絡帳にデータ共有
クラウド活用によりデータを再度入力する手間の軽減



- 『働き方改革事例集(改訂版)』
 【29頁 週案・指導案の作成 週20分×年43週=14.3時間/年】
 【84頁 行事予定・学校日誌のデジタル化 月15分×年200日=50.0時間】